

【開催レポート】空間VRで小学生が英会話！春休みのバーチャル遠足プログラムで、北海道の自然からスカイツリーの高層空間まで、都心のオフィスビルにいながら30か所以上をひととき旅。

教師も生徒も、十勝の牧場で寝転びながら英会話・間近で牛の写生を楽しむ



北海道発のウェルビーイングテック企業であるフォレストデジタル株式会社(北海道十勝郡浦幌町、代表取締役CEO:辻木勇二)は、都心のオフィスビル内での英語やSTEAM教育(※1)を小学生向けに提供する英語学童スクール「コトフィスアフタースクールプログラム」とコラボレーションし、「春休み限定プログラム」の一つとして、空間型VR”uralaa”を活用したイマーシブ英語学習体験(没入学習体験)を3月27日に東京大手町のTOKIWA BRIDGEにて開催しました。

※1 科学(Science)・技術(Technology)・ものづくり(Engineering)・芸術(Art)・数学(Mathematics)の5つの領域を重視する、21世紀型の新しい教育方針のこと

■開催概要

- ・イベント名称:「コトフィスアフタースクールプログラム 春休み限定プログラム」 イマーシブ英語学習体験
- ・日時:3月27日(水)10時~12時
- ・会場:TOKIWA PARK (TOKIWA BRIDGE 地下2階) <https://tokiwabridge.com/>
- ・プログラム
 - 10時~11時:映像のお仕事を学ぼう/360°カメラ撮影に挑戦/映像で乗り物体験
 - 11時~12時:英語で楽しむ!北海道十勝の旅~牛やリス、雪景色~
- ・企画・制作:フォレストデジタル株式会社、株式会社ECC、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【本イベントに関するお問合せ】

フォレストデジタル PR 担当 :竹田

e-mail: support@forestdigital.org

■当日の様子

首都圏在住の小学1年生から5年生が参加しました。プログラム前半では、空間VRのお仕事についての学びを深めていただきました。実際に外に出て360°カメラでの撮影を体験する時間もあり、子どもたちの好奇心が刺激された様子が見られました。

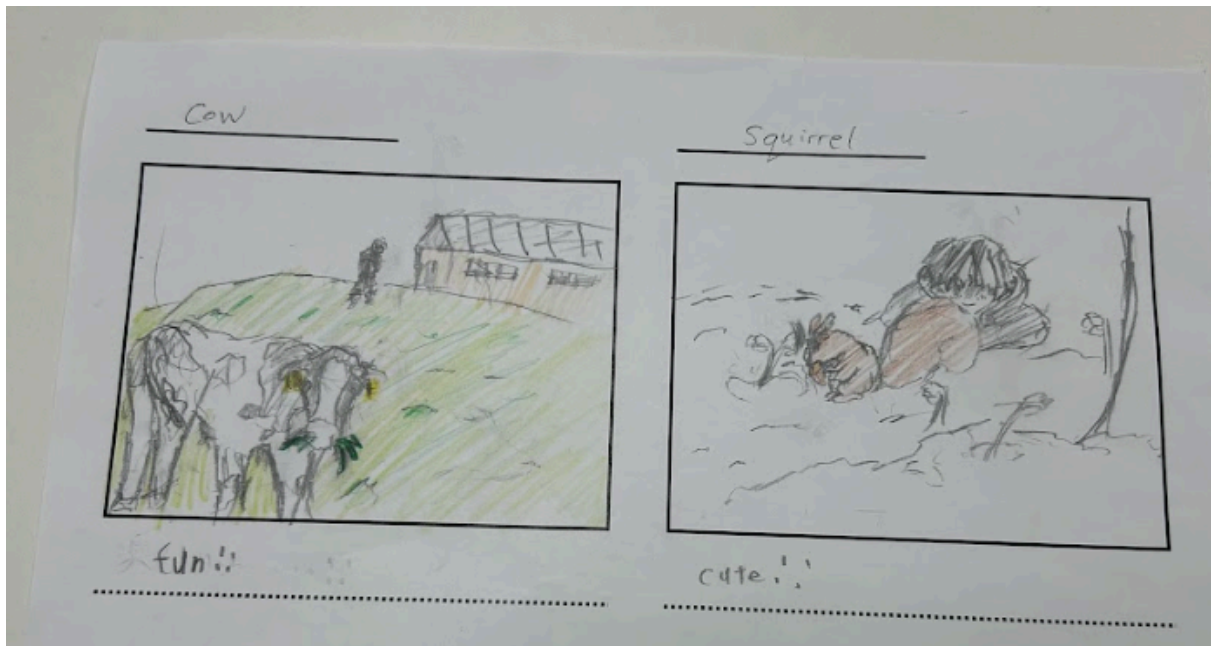




後半は、北海道の十勝の景色や動物たちを見ながら、まるで旅行に来たような没入体験を楽しんでいただきました。ゆったりと草を食む十勝の牛の姿や音更神社の森でえさを探すエゾリスの姿に歓声があがります。

先生たちと一緒に寝そべて空間VRを眺めながら、写生をし、リラックスした雰囲気の中で「きれいだな」「ここに行ったら何をしたい?」「どこに行きたい?」「あれは何?」「寒そう」と自然に英会話を楽しんでいました。





また、北海道以外にも各地30か所以上へバーチャル遠足を実施。

特に、西表島の魚と泳いでいるような臨場感あふれる映像の中では「you can swim」など、海に関連する英会話が飛び交います。また、「僕はタコになる」、「カニになる」と子ども達が自然とごっこ遊びをはじめ楽しんで見られました。

また、隅田川の花火大会、神奈川県西丹沢の山の中、群馬県前橋のバラ園で子どもたちが走り回り、オフィス空間が遠足の場に様変わりしました。

終盤には、前半で子どもたちが撮影した360°の映像を空間VR「uralaa」内で体験し、大変な盛り上がりとなりました。

■関係者コメント

-ECC英語講師 マイク様-

写真や動画などの教材で子どもたちと話すよりも、感性に訴えかける経験ができる空間で子どもたちの学習への姿勢も異なっており、大変素晴らしい空間だと感じました。

-小学生2年生 生徒-

今までやったことがない「撮影体験」「自然空間の中での学習」ができてとても楽しかった。360°カメラの仕組みがわかって面白く、自分が思ったことが形になって感動しました。また、普段の英語の勉強が同じような空間でできるともっと楽しくなると感じました。

-ECCスタッフ 奥山様-

普段はテキストやカードに掲載されている写真で学んでいる英語の学習が、映像を通してよりリアルに体験でき、子どもたちにとって良い刺激になったのではと感じます。ただ普通に座って勉強をするのではなく、好きな体制で好きな所でどこからでも見られる空間を使用した新しい英語学習方法の可能性を感じました。

-代表取締役CEO 辻木勇二-

海中の中では魚に変身して泳ぎ、十勝の牧場では牛さんと一緒に歩く、スカイツリーでは恐々と外を除など子供達が空間VR"uralaa"の変幻自在の空間に瞬時に適応し、まるで遠足のように各地のひとつき旅を楽しむ様子が印象的でした。動画学習とは異なり、空間全体で包まれることで、子どもたちの感性に働きかけ、感情が動くことで子どもたちがより意欲的に英語学習に参加していく姿を見て、教育現場での可能性を感じています。今後、学校教育の現場でも展開を予定しています。

-生徒からの手紙-

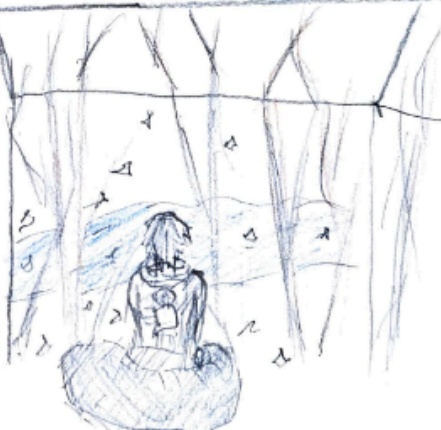
フォレストデジタル様

今日はありがとうございました。

VRで遠くにいけない人に行きた気持ちにさせる。とても

すてきな仕事だと思いました。これからもがんばら

て下さい。



■空間型VR ”uralaa(うらら)” 概要

”uralaa”は、大型のマルチスクリーンによる映像やサラウンド音響システム、自然のアロマなどを用いて、あたかも森や自然の中にいるような「ひととき旅」体験ができる空間型VRです。

世界初の技術となる”クラウドを通じたマルチスクリーン映像による没入自然空間を再現”するプラットフォームの開発に成功しました。(2022年 当社調べ)

VRでありながら、HMD(ヘッドマウントディスプレイ)など機器不要のため、老若男女どなたでも室内で没入体験ができるのが特徴です。

スマートフォンやPCで日本全国の美しい森や自然を自身で選択でき、演出した空間コンセプトの実現に貢献し、地域の魅力発信・活性化にも貢献いたします。

弊社独自の技術により多様な天井・壁のサイズに対応し、継ぎ目も違和感なく、自然空間に没入することができます。(※プロジェクター性能による制限有り)

常設施設だけでなく、イベント目的で期間限定での導入も可能です。

場所や用途に合った最適な導入をご提案しますので、お気軽にお問い合わせください。

・空間型VR”uralaa”の詳細、導入のご検討はこちら：<https://uralaa.com/service/>

■導入実績

フォレストデジタル株式会社は、これまで数多くの場所で地域の自然や歴史・文化の魅力を発信し、「時と場所を超えて自然の価値を共有」して参りました。本研究成果のエビデンスをもとに、「空間型VR ”uralaa”」は常設施設・イベント等の多様な形式で計17回採用され、採用していただいた企業の従業員やイベント体験者のウェルビーイングに貢献しています。



株式会社長谷エコーポレーション「サステナブランシェ本行徳」

(常設施設 国内8箇所)

- ・北海道十勝浦幌町「uralaa park urahoro」(2020年12月 北海道浦幌町)
- ・羽田空港どさんこプラザ「uralaa park haneda」(2021年6月 東京都大田区)
- ・三菱地所シェアオフィス「TOKIWA PARK by uralaa」(2022年3月 東京大手町)
- ・オカムラ「Digital Villa」エントランス(2022年5月 神奈川県横浜市)
- ・生活の木イオンモール土岐「生活の木 Earth trip by uralaa」(2022年10月 岐阜県土岐市)
- ・オカムラ「We Labo」執務エリア(2022年11月 東京都千代田区)
- ・富士フィルムイメージングシステムズ「Open Innovation Hub」(2023年4月 東京都港区)
- ・長谷エコーポレーション「サステナブランシェ本行徳」(2023年4月 千葉県市川市)

(イベント 随時開催)

- ・銀座「uralaa park ginza」(2021年2月)
- ・台東区、墨田区「uralaa park taito-sumida」(2021年10月)
- ・セブンパーク天美「uralaa park × 生活の木」(2021年12月 大阪府松原市)
- ・北海道上川北部森林管理署「uralaa park shimokawa」(2021年12月)
- ・北海道札幌市資料館「uralaa park sapporo」(2022年3月)
- ・「中部脳リハビリテーション病院」(2022年10月 岐阜県美濃太田)
- ・「ちょっと先のおもしろい未来」(2022年10月 東京都港区)
- ・HANAZONO EXPO「uralaa in HANAZONO EXPO」(2022年11月 東大阪市)
- ・「WOODコレクション2023」(2023年1月 東京都江東区)
- ・世界文化遺産 京都 醍醐寺「イマーシブの祈り～太閤秀吉が見た醍醐の景色」(2023年9月 京都府京都市)
- ・総合川崎臨港病院・川崎市川崎病院「バーチャルおでかけ体験会」(2023年12月 神奈川県川崎市)
- ・「十勝に行こう！『なつかしさと新しさが混じりあう』浦幌町から十勝の魅力をお届け。」(2024年2月 東京都千代田区)

■フォレストデジタル株式会社 概要



2019年11月に北海道十勝で設立した「デジタル技術を用いて森や自然の価値を共有する」デジタル・ウェルビーイング企業。

「テクノロジーは私たちを幸せにしているのか」という問いに対する解を出すために、ヤフー出身者や十勝の林業家らが集まり創設。

2022年1月に、世界初の没入自然空間サービスuralaaを一般リリースし、20を超える企業と連携パートナーシップを締結。

- ・社名：フォレストデジタル株式会社(英語名 forestdigital, inc.)
- ・本社：北海道十勝郡浦幌町字常室51-1 トコムラボ
- ・東京オフィス：東京都千代田区大手町2-7-1 TOKIWAブリッジ
- ・代表取締役CEO：辻木 勇二
- ・事業内容：没入自然空間「uralaa park(うららパーク)」の開発、運営
- ・ホームページ：<https://forestdigital.org/>

・主な協定等：

- 2020年3月：北海道十勝総合振興局と「森林の魅力発信等に関するタイアップ協定」締結
- 2021年5月：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所と共同研究契約を締結
- 2022年7月：富士フイルムイメージングシステムズ株式会社と販売パートナーのアライアンスを提携
- 2022年9月：J-Startup HOKKAIDO認定スタートアップ企業に選定
- 2023年1月：一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構に幹事会員として参画
- 2023年3月：株式会社オカムラとの販売パートナーのアライアンスを提携
- 2023年5月：住友林業緑化株式会社との販売パートナーのアライアンスを提携
- 2023年5月：「人間・環境学会(MERA)・学会賞」を受賞

■株式会社ECC 概要

総合教育・生涯学習機関



ECCは1962年の創業以来、60年以上にわたり、さまざまな教育活動を展開。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることをECCの使命としています。

<https://www.ecc.co.jp/>

【本イベントに関するお問合せ】

フォレストデジタル PR 担当 : 竹田

e-mail: support@forestdigital.org